

衆議院消費者問題に関する特別委員会ニュース

平成 21. 4. 7 第 171 回国会第 11 号

4月7日(火) 第11回の委員会が開かれました。

1 消費者庁設置法案(内閣提出、第170回国会閣法第1号)

消費者庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律案(内閣提出、第170回国会閣法第2号)

消費者安全法案(内閣提出、第170回国会閣法第3号)

消費者権利院法案(枝野幸男君外2名提出、衆法第8号)

消費者団体訴訟法案(小宮山洋子君外2名提出、衆法第9号)

・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

(参考人) 社団法人日本経済団体連合会

経済法規委員会競争法部会部長代行

パナソニック株式会社法務本部顧問

齋藤 憲道君

明治学院大学法学部准教授

圓山 茂夫君

日本弁護士連合会

消費者行政一元化推進本部部長代行

弁護士

中村 雅人君

(質疑者及び主な質疑内容)

七 条 明君(自民)

- ・圓山参考人は消費者目線で消費者行政を一元化する必要があるとされているが、その観点からの政府案への評価を伺いたい。
- ・消費者政策委員会の権限強化の是非、15人の委員の在り方等について経団連としての意見を伺いたい。
- ・政府案に対する認識と修正すべき点についての日弁連の意見を中村参考人に伺いたい。

大 口 善 徳君(公明)

- ・消費者政策委員会は、政府案にある行政組織法上という8条委員会ではなく、3条委員会であるべきという話もあるが、中村参考人のご意見を伺いたい。
- ・適格消費者団体の認定の在り方と登録制の採用に関して齋藤参考人の見解について伺いたい。
- ・地方への財政支援の在り方、地方の消費者行政は「自治事務」と「法定受託事務」のどちらであるべきかに関する圓山参考人の所見を伺いたい。

仙 谷 由 人君(民主)

- ・生命・損害保険会社各社の不払い問題など事業者本位の経済界の問題意識を消費者重視の姿勢に変えていく必要がある。経団連としての見解を齋藤参考人に伺いたい。

- ・現場の弁護士はみな悪徳業者等の違法収益のはく奪、被害財産を保全することが必要だと訴えているが、日弁連のこの問題に対する意見を中村参考人に伺いたい。
- ・現場から見た地方の消費者行政の在るべき姿について圓山参考人から伺いたい。

吉 井 英 勝君(共産)

- ・産業界における事故情報の共有、経済産業省への報告、消費者への情報提供について、産業界としてどのような議論がなされているか、齋藤参考人に伺いたい。
- ・地方の消費者行政における財政問題については、消費者の利益をどうすれば確保できるかを基礎として考えるべきだと思われるが、圓山参考人の見解を伺いたい。

日 森 文 尋君(社民)

- ・消費者庁への情報の一元化は実現可能であるか、実現のために何が必要となるか、中村参考人のお考えを伺いたい。
- ・企業の問題事例は内部告発によって顕在化することが多いが、その理由及び企業の取組みについての齋藤参考人の見解を伺いたい。

糸 川 正 晃君(国民)

- ・企業と消費者の関係を対等・良好なものとするためにど

のような仕組みが必要と考えられるか、各参考人の見解を伺いたい。

・シンドラ-社製エレベータ事故に対する国土交通省の対

応は十分なものであったか、中村参考人の認識を伺いたい。